

# 平成25年度中間決算について

平成25年11月8日



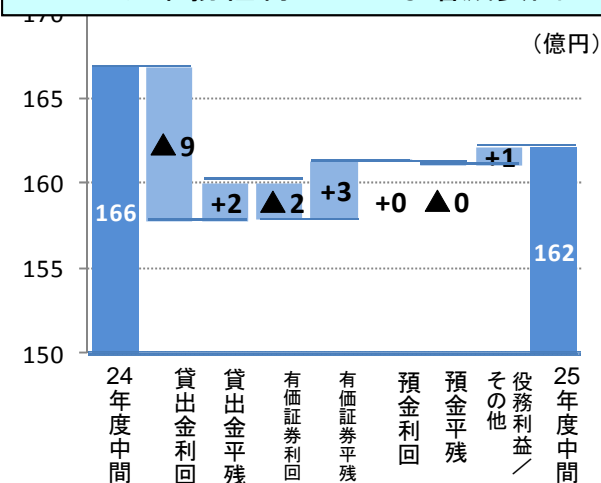
# 平成25年度中間決算サマリー

【単体ベース】

(金額単位: 億円 単位未満切り捨て)

	平成24年度中間 実績	平成25年度中間 実績	増減
業務粗利益	195	176	△ 18
うち資金利益	149	144	△ 5
うち役務利益	18	18	0
うち国債等債券損益 ①	28	14	△ 14
コア業務粗利益 ( 業務粗利益 - ① )	166	162	△ 4
経費	131	129	△ 1
うち人件費	64	62	△ 2
うち物件費	61	61	0
コア業務純益	35	32	△ 2
一般貸倒引当金繰入額 ②	5	△ 1	△ 6
業務純益	58	48	△ 9
臨時損益	△ 26	△ 17	9
うち株式等損益 ③	△ 35	2	38
うち不良債権処理額 ④	△ 5	20	25
うち偶発損失引当金戻入益等 ⑤	2	0	△ 2
うち償却債権取立益 ⑥	1	0	△ 0
経常利益	31	31	△ 0
特別損益	△ 0	△ 0	0
税引前中間純利益	30	30	△ 0
法人税等	23	14	△ 8
中間純利益	7	15	8
(信用コスト) ②+④-⑤-⑥	(△ 3)	(17)	(21)
(有価証券関連損益) ①+③	(△ 6)	(17)	(23)
コアOHR	79.0%	79.8%	0.8%

## コア業務粗利益の主な増減要因



## 信用コスト17億円 前年同期比+21億円

個別貸倒引当金繰入が前年同期比25億円増加したことを主因として信用コストは前年同期比21億円増加。

## 有価証券関連損益 前年同期比+23億円

	24年中間	25年中間	前年同期比
国債等債券損益 ①	28	14	▲ 14
売却益	26	14	▲ 12
償還益	3	-	▲ 3
売却損	1	0	▲ 0
株式等損益 ②	▲ 35	2	38
売却益	-	4	4
売却損	4	0	▲ 4
償却	30	1	▲ 28
① + ②	▲ 6	17	23

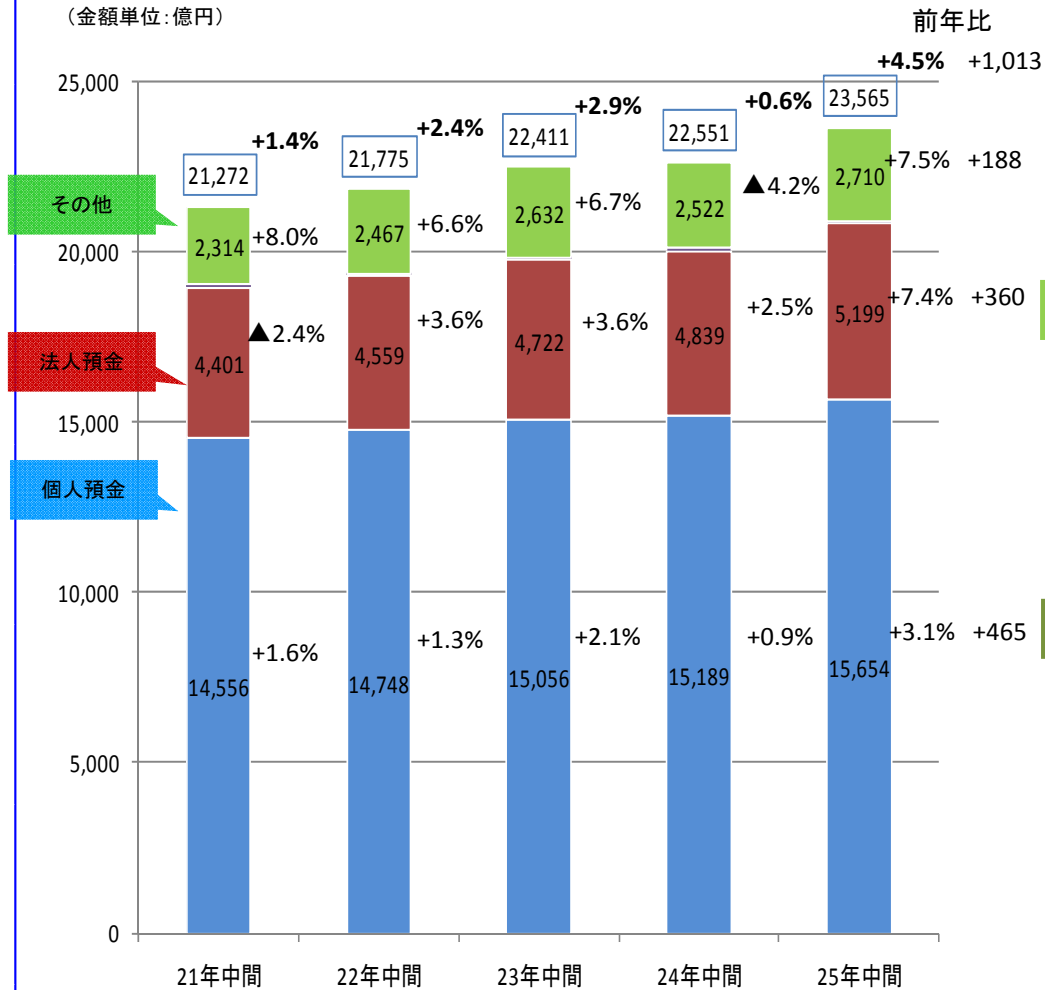
## 中間純利益15億円 前年同期比+8億円

コア業務純益が減少した一方、法人税等の減少により中間純利益は前年同期比8億円増加。

# 預金・個人預り資産の状況

## 総預金(含む譲渡性預金)平残推移

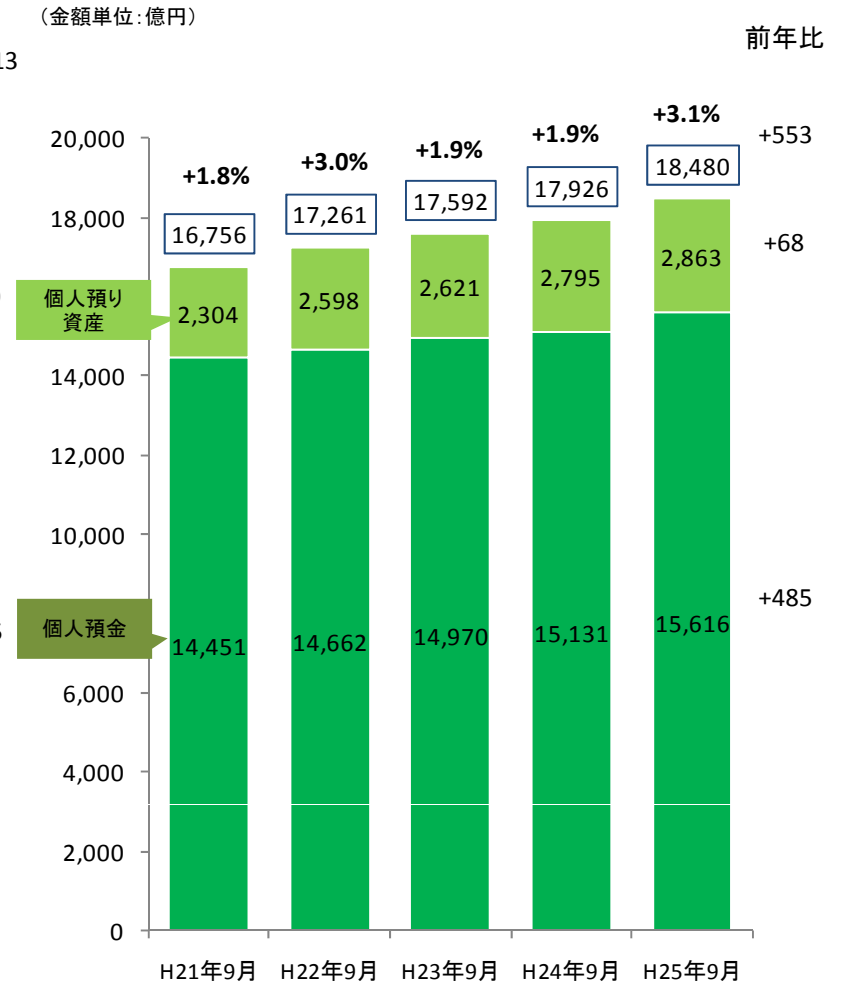
(金額単位:億円)



※パーセント表示は年間伸率

## 個人預金+個人預り資産残高推移

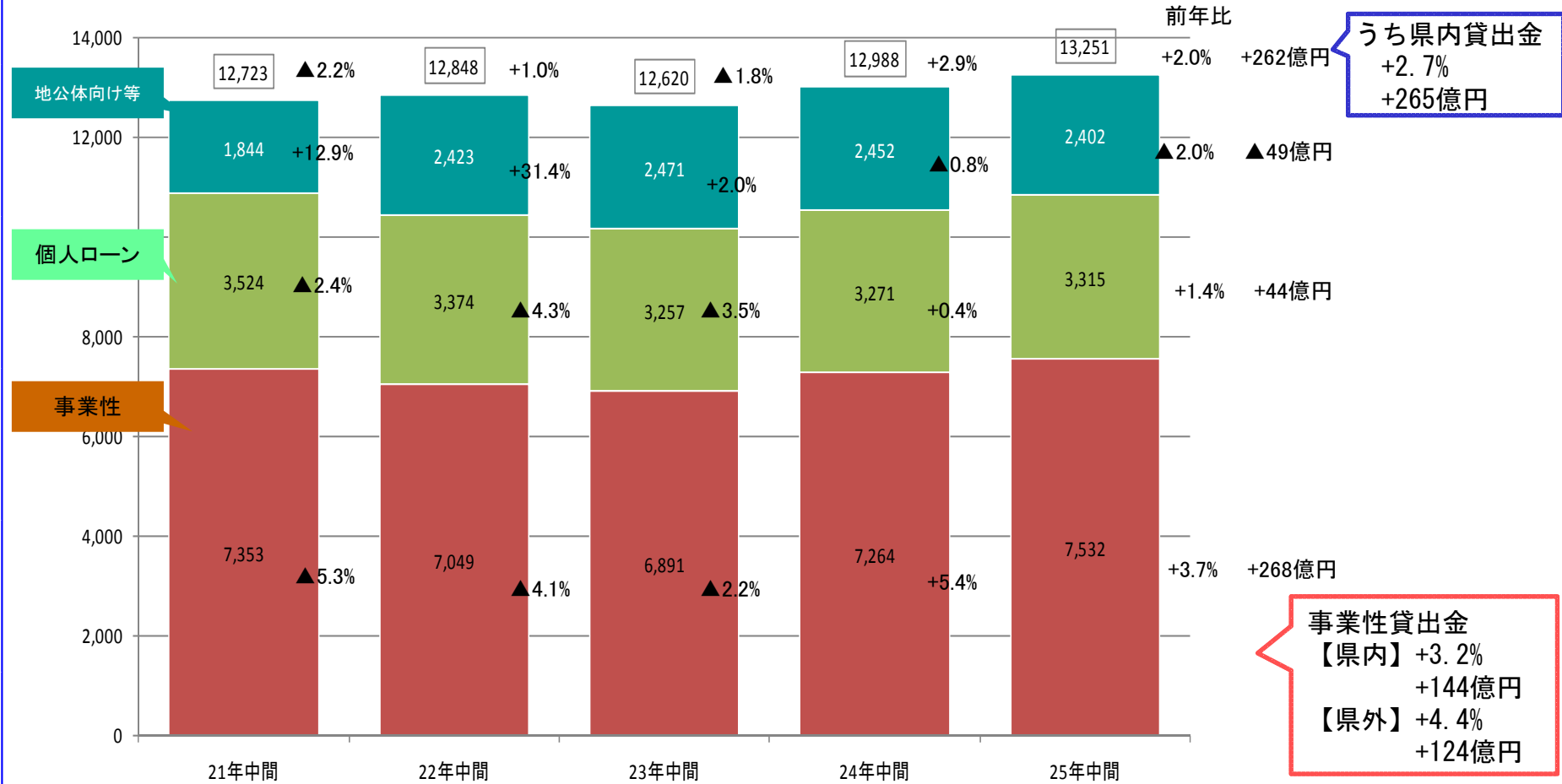
(金額単位:億円)



# 貸出金の状況

## 貸出金平残推移

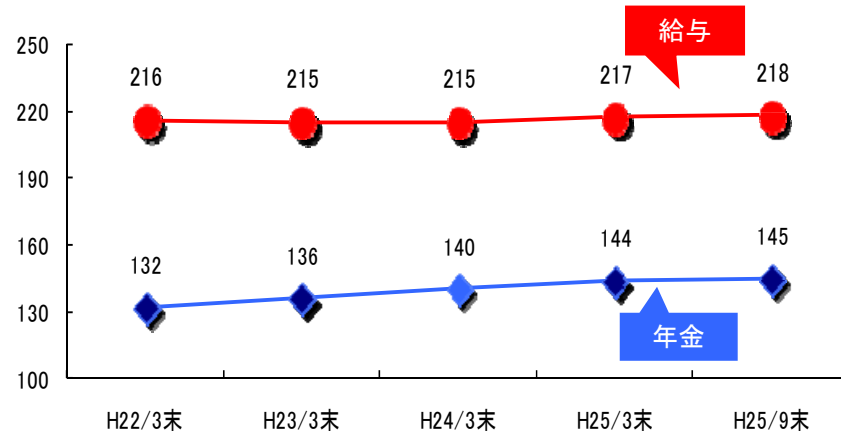
(金額単位: 億円)



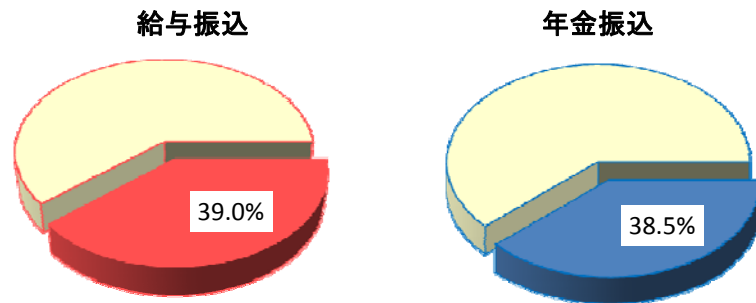
# 個人顧客基盤の状況

## 長崎県内における年金・給与振込指定口座の推移

(単位:千人)



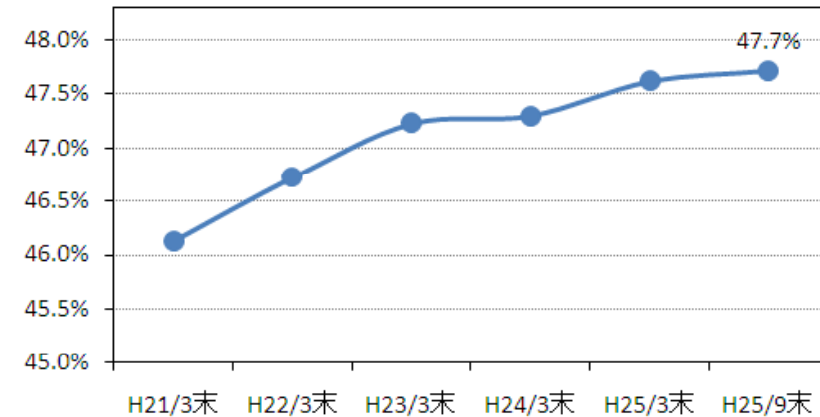
## 長崎県内における取引シェア



※就業構造基本調査 H24年10月 559千人をベースに算出

※H24年10月現在の65歳以上人口377千人ベースに算出

## 長崎県内における個人預金シェアの推移



※日本銀行「都道府県別預金(国内銀行)」を基に算出

## 顧客基盤の更なる拡大に向けサービスを強化

### ATMコーナー営業時間の全面的な拡大

・長崎県内のATMコーナー138カ所の営業時間を土日・祝日を含めて原則「AM8:00～PM9:00」へ拡大(平成25年11月未完了予定)

⇒コンビニATMとの提携と併せ、顧客利便性を向上

### コンビニATM提携先

セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、デイリーヤマザキ他

# 信用コスト・不良債権の状況

## 信用コスト推移

※実態ベース

(金額単位: 億円)

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	
					予 想	中間実績
信用コスト	▲ 23	▲ 43	13	7	19	17
一般貸倒引当金繰入額	▲ 57	▲ 63	▲ 0	8	▲ 2	▲ 1
不良債権処理額	39	25	18	7	21	20
個別貸倒引当金繰入額	19	14	15	4		20
債権売却損	1	▲ 1	-	0		▲ 0
偶発損失引当金繰入額	5	5	2	-		-
貸出金償却等	13	7	1	1		0
償却債権取立益/偶発損失引当金戻入益	5	5	5	7		1
信用コスト率 (信用コスト/貸出金平残)	-	-	0.10%	0.06%	0.14%	0.26%

### 平成25年度中間期の信用コスト

- 一般貸倒引当金繰入額  
正常先の予想損失率低下等を要因として1億円の戻入。

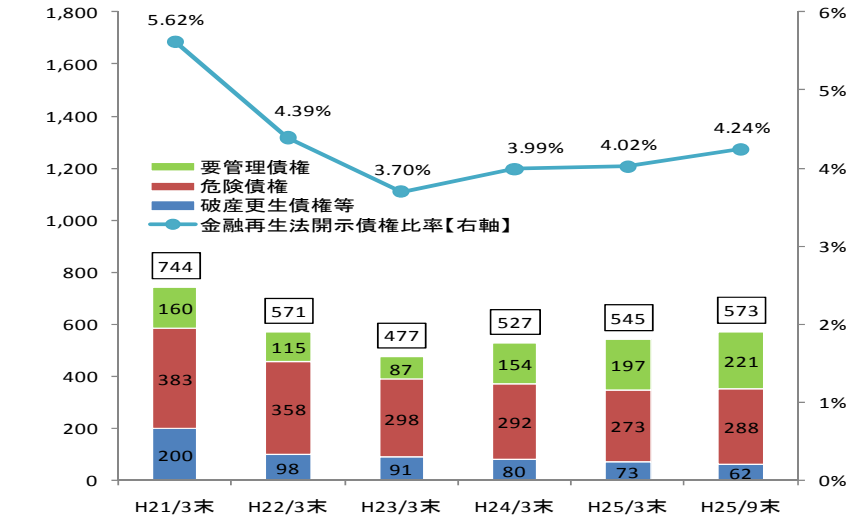
#### 【引当金増減】

正常先	①	▲1億円
その他要注意先	②	+1億円
要管理先	③	+0億円
DCF/DDS先	④	▲1億円
ネット	①+②+③+④	▲1億円

- 不良債権処理額  
破綻懸念先以下へ大口先のランクダウンの発生を主因として個別貸倒引当金繰入額が増加。

## 不良債権残高の状況

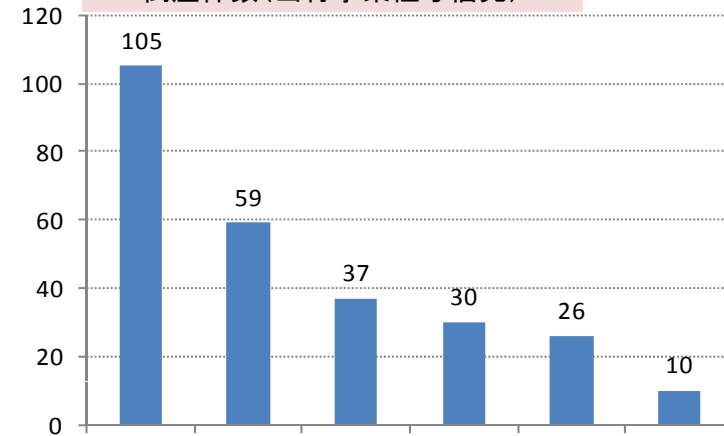
(金額単位: 億円)



※部分直接償却実施後

(単位: 件数)

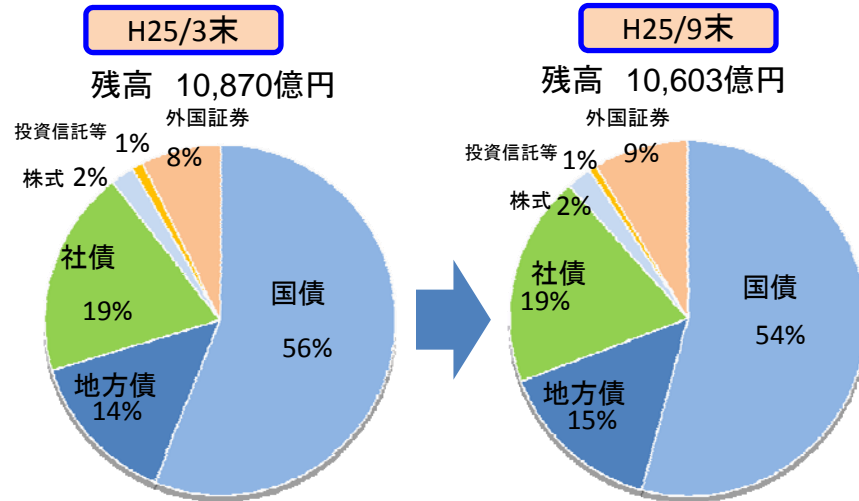
### 倒産件数 (当行事業性と信先)



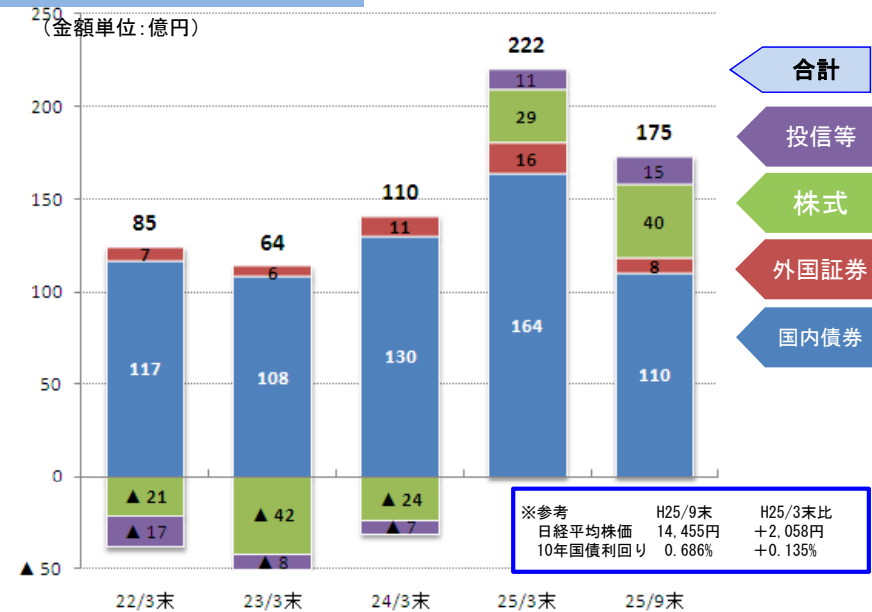
※倒産定義: 法的破綻及び取引停止処分

# 有価証券の状況

## 有価証券投資状況



## その他有価証券評価損益推移

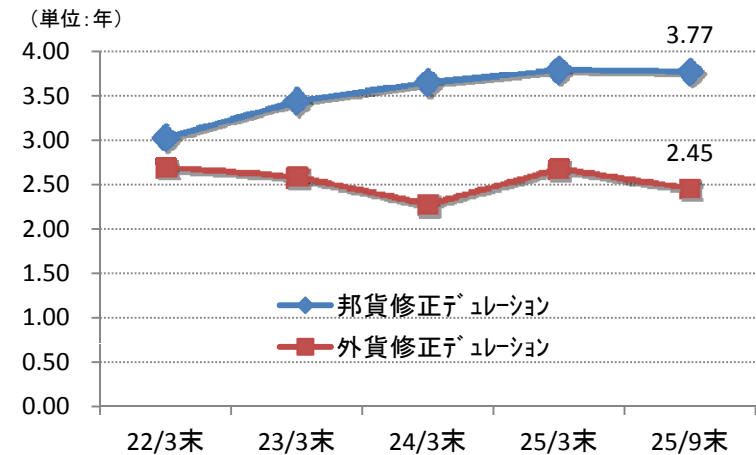


## 外貨建債券の状況

(金額単位: 億円)

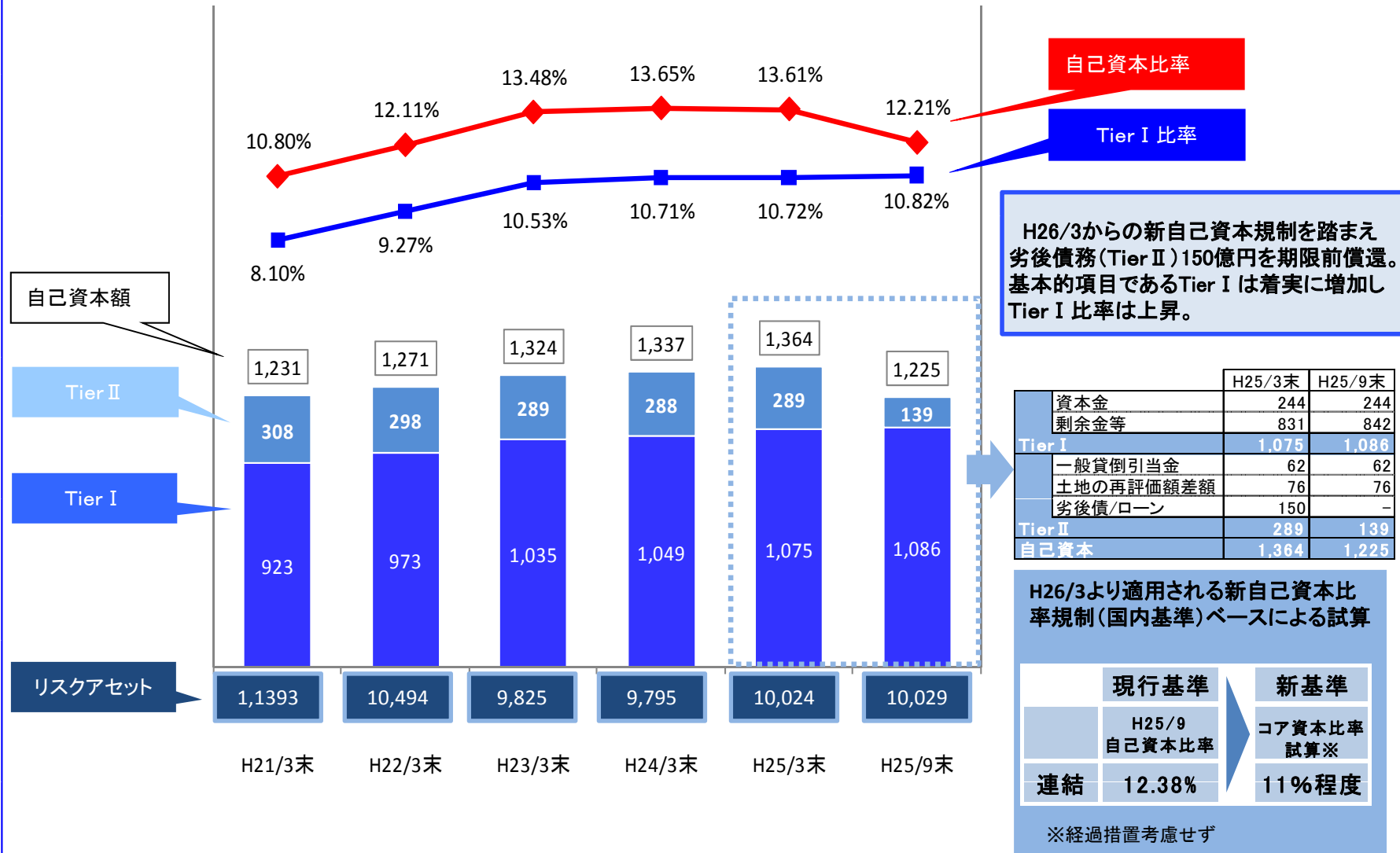
	H25/3末残高	H25/9末残高	増減
US \$	631	726	95
EUR \$	60	92	32
合 計	691	817	127

## その他有価証券デレション推移



# 自己資本の状況

(金額単位: 億円)





# 平成25年度業績予想

(金額単位: 億円)

	平成24年度 実績	平成25年度 予想	増減
コア業務粗利益	332	323	△ 9
うち資金利益	295	283	△ 12
うち役務利益	38	38	0
経費	257	253	△ 4
うち人件費	127	124	△ 3
うち物件費	117	117	0
コア業務純益	75	70	△ 5

資金利益の主な増減要因

- ・貸出金利息 平残要因 +5億円  
利回要因 ▲16億円
- ・預金等利息 平残要因 +0億円  
利回要因 ▲0億円
- ・有価証券利息/配当金 平残要因 +5億円  
利回要因 ▲6億円

経常利益	68	68	0
当期純利益	37	45	8
信用コスト	7	19	12

# 配当政策

## < 配 当 方 針 >

## 業績連動配当

【安定配当部分】 年間1株当たり6円

【業績連動部分】

安定配当と業績連動配当を合わせた配当性向は25%程度を目処と考えますが、各期の具体的な業績連動部分の配当金については、その時々を経済情勢、財務状況等を勘案し、各期の業績が明らかになった時点で決定いたします。

業績連動  
配当

+α

安定配当

6円

配当性向  
25%程度  
を目処

	平成21年度 実 績	平成22年度 実 績	平成23年度 実 績	平成24年度 実 績	平成25年度 予 想
中間配当金	2円50銭	3円00銭	3円00銭	3円00銭	3円00銭
期末配当金	4円50銭	5円00銭	3円00銭	3円00銭	3円00銭
年間配当金	7円00銭	8円00銭	6円00銭	6円00銭	6円00銭
(うち業績連動配当)	(2円00銭)	(2円00銭)	( ー )	( ー )	( ー )
一株当たり 当期純利益	33円42銭	39円64銭	16円97銭	21円40銭	25円94銭
配当性向	20.9%	20.1%	35. 3%	28. 0%	23.1%

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。